

第4回評価委員会用資料

理化学研究所計算科学研究機構 (AICS)

AICSの予算概要

第1回資料5-1P48 (更新版)

(単位:千円)

機構の運営費等

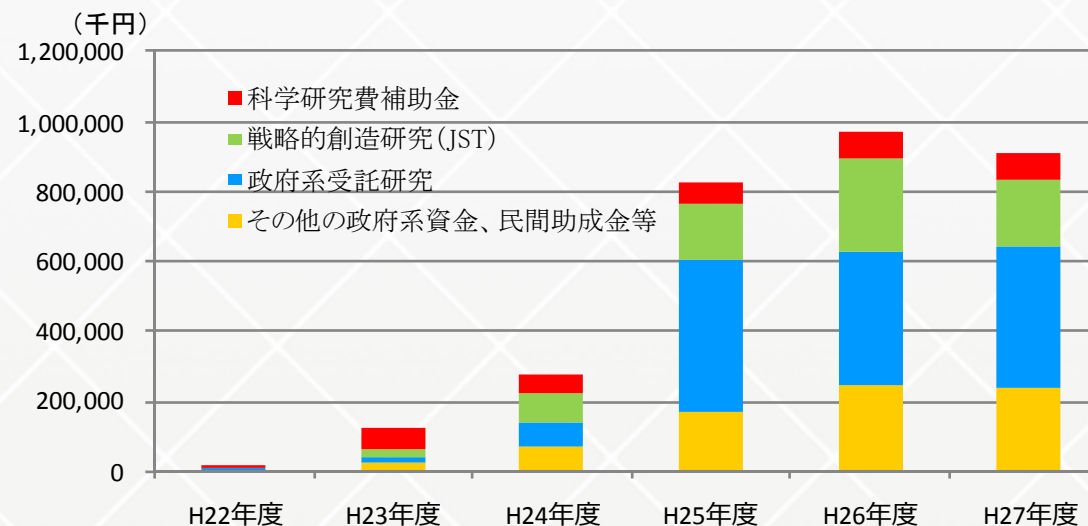
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
高性能汎用計算機システム利用・運転維持費補助金 *1	1,060,539	6,499,827	9,653,322	—	—	—
特定高速電子計算機施設の運営(補助金) *1	—	—	—	10,587,077	10,416,499	10,373,167
次世代超高速電子計算機システムの開発・整備等(補助金) *1	—	—	—	—	1,150,444	3,524,312
計算科学技術研究事業費(運営費交付金) *2	—	—	—	81,490	77,416	62,984

*1 特定先端大型研究施設運営費等補助金 *2 理研内部連携のための運営費交付金

外部資金獲得状況

(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
科学研究費補助金	1,950	55,250	50,300	62,256	75,023	75,261
戦略的創造研究(JST)	0	27,625	84,471	160,934	266,191	191,439
政府系受託研究	8,000	15,300	74,508	435,448	378,204	407,297
その他の政府系資金、民間助成金等	0	24,075	67,871	170,199	250,577	237,423
総計	9,950	122,250	277,150	828,837	969,994	911,420



SPring-8の取組から参考にした例

補助金による事業を展開している理研放射光科学総合研究センターの例を参考にアドバイザー・カウンシルを準備中（2016年8月開催予定）である。

<参考>

□ AICSアドバイザー・カウンシル(平成28年度より):

- 研究センター等の運営に関する事項並びにその研究開発又は事業の評価に関する事項について、理事長又は研究センター等の長の諮問に応じて審議し、理事長又は研究センター等の長に答申する。

- 国内外の科学技術及び研究機関等の運営に関する有識者及び専門家9名(外国人5名*)を委嘱。

*外国人有識者:

Jack Dongarra (Professor, University of Tennessee),

Horst Simon (Deputy Director, Lawrence Berkeley National Laboratory),

Thomas Lippert (Director of the Institute for Advanced Simulation, Head of JülichSupercomputing Centre, Forschungszentrum Jülich GmbH),

William Kramer (Director Blue Waters Project, National Center for Supercomputing Applications (NCSA)),

Michele Parrinello (Professor, Eidgenössische Technische Hochschule Zürich (ETH))

なお、SPring-8やJASRIの取組みを参考とするため、AICSにてSPring-8の調査を行った。調査結果を今後の活動に活かすべく、検討中である。

国際発信について

● ターゲットとする主なステークホルダ

- 主として海外研究者

(参考: 国内向け広報のターゲット)

- 知的好奇心の高い現役世代
- 次世代を担う若年層(保護者・教員・教育系出版社を含む)
- 地元

● 主な活動

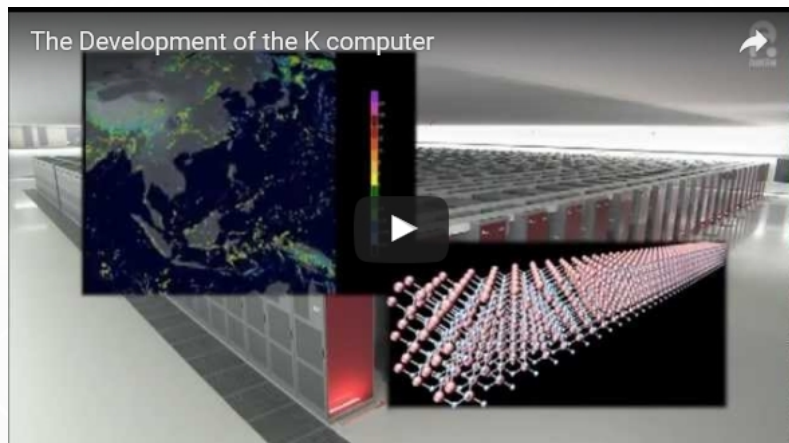
- スパコン学会・展示会における展示
 - 6月: ISC(欧州)、11月: SC(米国) (2010年のSC10より出展)
- 英語コンテンツの制作
 - 成果動画: 英語化
(UT-Heartの動画閲覧数では、日本語版32,610回に対して英語版267,600回*1)
- ウェブを通じた発信
 - 「京」の成果: 国内向けよりもやや専門的な内容
(英語版ホームページ訪問者数 12,894名*2)
 - イベント・研究会等: 国内で実施するものも含めて紹介
- 見学者受入 (海外からの受入 74件、982名*2)

*1…2014年の公開開始(日本語版7月、英語版10月)～2016年5月

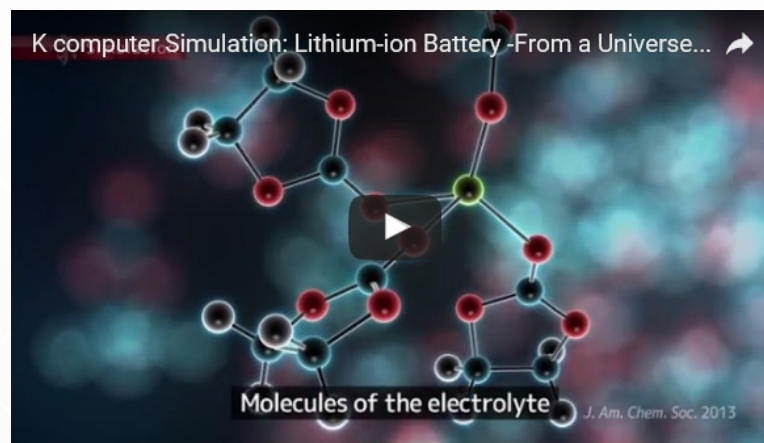
*2…2015年4月～2016年3月

国際発信について（英語版ホームページ）

「京」の開発や、成果に関する英語版の動画を英語版ホームページで公開。
(<http://www.aics.riken.jp/en/outreach/video-gallery/>)



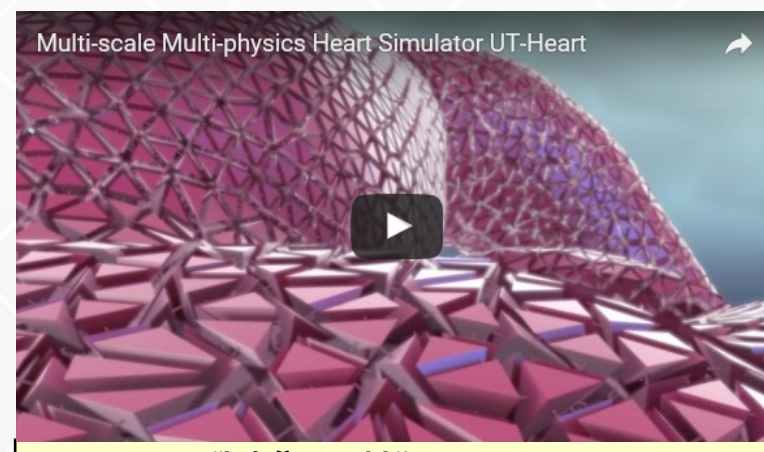
「京」開発
ウェブ公開：約3年8か月 閲覧数：10,300回



リチウムイオン
ウェブ公開：約7か月 閲覧数：700回



自動車空力(短縮版)
ウェブ公開：約7か月 閲覧数：500回



UT-Heart(戦略分野1制作)
※SIGGRAPH 受賞作品(2015年6月)
ウェブ公開：約1年8か月 閲覧数：267,600回

以下、ご参考

AICSの広報活動 参考データ (イベント)

認識度・理解度の低い若年層の参加増に向け、教委・学校等との連携により、高松では若年層が4割に。

● シンポジウム・講演など 147件

※2012年4月～2016年1月

● イベント来場者数

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
京シンポ	389	321	229 (展示 1,400)	207
一般公開	3,435	2,150	2,500	2,590
和光一般公開 (和光全体)		(8,481)	2,537 (11,190)	約1,100 (7,057)
ISC(欧州)		170	520	170
SC(米国)	249*	147*	780	500

知る集い	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
	金沢 216	新潟 241	大阪 159	富山* 563
	広島 233	東京* 416	静岡 189	高松 170
	東京 309	盛岡 294	松江 106	仙台 170
	長崎 278	熊本 326		富山は、 富山県・ 県教委と 共同開催
	秋田 259	東京は 「特別 版」とし て開催		

※2015年度は、仙台、富山、高松など各地で開催



京都、仙台、東京、神戸、福岡、名古屋、松山、札幌、金沢、広島、長崎、秋田、新潟、盛岡、熊本、大阪、静岡、松江、富山などで開催(2010年～)。



AICSの広報活動 参考データ（見学者（イベント参加者を含む））

地元のみならず、全国各地から受け入れ。毎年楽しみにしている学校等もある。

● 見学者数（イベント参加者を含む）

	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度*
件数	447	542	408	426
見学者数	12,646	11,537	9,419	10,249
前年度比		91%	82%	109%

*2015年度は1月末まで

※2012年4月～2016年1月

● 主な見学（学校、企業など）約4万4千人(1823件)

<2015年度の見学事例>

- 4月 敦賀工業高校(福井県)、徳島科学技術高校
- 5月 広島三育学院高校、JR東日本
- 6月 津山高専(岡山県)、米国アルゴンヌ国立研究所
- 7月 桜ノ宮中学校(兵庫県)、富山いずみ高校
- 8月 米沢興譲館高校(山形県)、札幌開成中等教育学校
巨摩高校(山梨県)、大阪大学、パナソニック
- 9月 名城大学(愛知県)、松江高専、静岡県立大学
- 10月 鶴甲小学校(兵庫県)、九州工業大学、NTTドコモ
- 11月 都城高専(宮崎県)、磐城高校(福島県)
- 12月 富谷高等学校(宮城県)、茨城工業高専
- 1月 神戸大学、インド工科大学